

# HIO YOG

## 教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】教区基推委広報部

1991.5.6. 46号

### 『研修読本』 発刊される

定価千円・内容は話し合いを主体に

教区基推委

この度、兵庫教区基幹運動推進委員会発行の「研修読本」(定価千円)が発刊されました。  
現在、各組で取り組まれております組連研も十五年を経過しようとしており、

組における基幹運動推進の中心的な役割を果たしてききました。  
しかし、連研の目的である「法座活動を積極的に進める門徒推進員の養成」の確認が、常になされている

かというと必ずしもそうではないようであり、連研検討部会は昭和六十三年度に「連研についてのアンケート調査」を実施し、その結果、話し合いを主体とした教材の必要性が強く要望されました。これを受けて兵庫教区基幹運動推進委員会は「研修読本作成部会」を構成して平成元年七月よ

り作成にかり、教区基幹運動基本大綱推進の最終年度に実施される「兵庫教区御同朋総結集大会」の記念すべき年度に「研修読本」の発刊をめざしたのであります。  
この研修読本を組連研や同朋講座をはじめ他の研修会において、一人でも多くの方々にご利用いただき、親鸞聖人の御同朋精神を實踐する念仏者が育つて頂くことが強く願われております。



先日小学二年生の姪が学校から帰ってくるなり「鉛筆や消しゴム、



新しく発行された研修読本

なお、次の方々に執筆をしていただき完成をみる事ができました。(五十音順)  
足利孝之師、大内憲英師、佐々木智見師、杉本昭典師、谷川弘顕師、西池哲俊師、西脇 修師、藤栄行信師、増井浄見師、松島法城師、山崎一朗師、和田宏之師。

教区だより		6月	
12日(木)	寺婦ブロック(東播・姫路・西播・岡山)	姫路中組光源寺	
13日(木)	ビハラー推進部会	10時半	
14日(金)	総局巡回	1時	
14日(金)~16日(日)	別院永代経法要 貴島信行師(大阪教区)	1時半	
15日(土)	同兵宗連総会・研修会 石川力山師(駒沢大教授)	1時	
16日(日)	仏社ブロック研修(阪神・神戸)	神戸別院	
17日(月)	少年サマースクールスタッフ会議		
18日(火)	仏婦ブロック研修(阪神)	阪神西組西福寺	
19日(水)	仏婦ブロック研修(神戸)	神戸別院	
20日(木)	仏婦ブロック研修(岡山)	岡山南組源照寺	
21日(木)	少年指導者研修会		永上西組正覚寺
24日(月)	仏婦ブロック研修(丹波)		朝来組勝賢寺 京都
25日(火)	仏婦ブロック研修(但馬)		姫路西組本徳寺
27日(木)	仏婦ブロック研修(西播)		姫路西組本徳寺
28日(金)	仏婦ブロック研修(東播・姫路)		本山
7月1日(月)~2日(火)	社推協中央研修会		本山
2日(火)~3日(水)	組相談員研修会		滋賀
3日(水)~4日(木)	中部・近畿布教使研修会		10時半
5日(金)	社推協評議員総会		1時半
6日(土)	第一土曜仏教講座 徳永道雄師(京都女子大教授)		1時半
7日(日)	別院仏婦定例 柄谷正純師(阪神東組西正寺)		1時半



本山の白洲で暑さをがまんの神崎組の皆さん

### 教区から四百年法要に 一万四千八百七十七人

二十一世紀の宗門の展望を切り開く一大機縁との願いを込め営まれた「四百年法要」は四週二十四日間の法要期間中、兵庫教区各組で団参が組まれ延べ一万四千八百七十七人が教区よりお参りされました。  
各組の団参人数は次の通りでした。  
▽阪神東組六百二十八人▽阪神南組三百五十七人▽阪神西組三百九十一人▽阪神北組六百五十四人▽神戸東組五百八十六人▽神戸中組三百八十八人▽神戸西組四百三十八人▽神戸西組六百六十八人▽北摂組三百三十三人▽神

生前のご苦勞を偲び 謹んで敬弔の意を表します。(敬称略)	
播磨東組西光寺住職 「浄満院釋昇司」	西本 昇司 4月12日 84才
神姫組安福寺前住職 「愍修院釋順正」	照尾 順正 4月12日 71才
出石組東光寺住職 「真実院釋義雄」	東井 義雄 4月18日 79才
岡山南組西念寺前坊守 「明浄院釋尼瑞淳」	牧野 淳子 4月28日 87才

明組七百九十九人▽淡路組百八十八人▽播磨東組六百六十八人▽播磨中組四百八十八人▽多可組百五十三人▽加古川組三百五十五人▽高砂組二百七十七人▽神崎組六百三十五人▽神姫組四百九十八人▽姫路東組二百五十八人▽姫路南組四百四十五人▽姫路中組二百八十人▽姫路西組三百九十八人▽網干組八百六十二人▽揖尾東組四百二十八人▽揖尾西組四百三十三人▽新宮組二百七十七人▽赤穂南組二百六十八人▽赤穂北組二百七十八人▽赤穂西組二百七十八人▽多紀組百五十六人▽氷上東組三百七十一人▽氷上西組四百四十八人▽朝来組二百三十人▽養父組二百五十五人▽出石組二百人▽城崎組二百一人▽岡山南組六百八十一人▽岡山北組二百三十八人▽神戸別院四十八人▽岡山愛生園・光明園七十五人。

◆19日 教区仏社連盟第十七会総会、姫路・西播大会(別記) ◆20日 長島の愛生、光明両園の宗祖降誕会に教務所長出席 ◆22日 社推協常任委員会、すでに報告をいただいている「福祉活動現況調査」のデータ整理を光森常之師(阪神西組常宣寺)のお世話でコンピュータ処理を願っています ◆23日 教務所の事務所の模様替え ◆25日 東海教区から四百年法要にあわせて別院へもバス五台で団参 ◆27日 兵庫教区教化センター設立専門委員会(建設・財務・広報部会)並びに常任委員会を別院で。予算や募財の方法などを協議。おこたわり

今月号は都合により合併号とさせていただきます。

# 仏壮大会で募金活動

## 子や孫育成の基金づくり

兵庫教区仏教壮年会連盟第十七回総会、姫路・西播大会が五月十九日龍野市の「龍野市民会館」で仏社会員八百人近くが参加し開催された。

各担当ブロックが大会やその運営を通して仏壮活動をより活発に推進していくことの狙いで教区連盟結成以来続けられております。十時半から開会式があり午前中総会、昼食アトラクションをはさんで午後、早川一光氏（元堀川病院院長）の講演会、仏社会員二名による体験発表があり、三時半に終了した。

教務所長の挨拶や総会の行事計画の中でも確認された「兵庫教区青少年育成基金」が昼食後の休憩時間を利用して仏壮理事が、募金箱を持って会場を回った。

この基金は先の理事会でいつもスローガンでは「念仏の声を子や孫に」とうたってはいるが、何か具体的な動きをしてはとの発案があり、理事全員が賛同し、

「基金の性格」  
第二条、この寄付金は、寺院・教化組織の団体または個人若しくは集団が、自発的に、自由に、これを行うものとし、いかなる制約も伴うものではない。

【基金の設定】  
第三条、兵庫教区として、基金を積み立てるため、教区特別会計として、青少年育成基金を設定する。

2、この基金は、第一条の目的に賛同する人びとなどの寄付金をもって積み立て、人材の育成及び教化団体の諸事業に対し、支出するものとする。

3、前項の基金は、これ

を別途に経理保管するものとし、他の資金と混合し、または、他の目的のために使用することはできない。

4、教務所長は、青少年育成基金の現況について、年一回以上、これを公表するものとする。

【趣旨の普及徹底など】  
第四条、教務所長は、第一条に規程する趣旨の普及徹底につとめ、寺院・門信徒・教化組織などがこの規則の趣旨にそのような措置をとるよう奨励するものとする。

【付則】  
この規則は、平成三年四月一日から施行する。



研究会などで活用される募金箱とタスキ

### 『私は魚で親は水』

妙好人、楨原さん

妙好人楨原英一氏の詩作「私は魚で親は水」は四〇才の頃から続いています。

昨年七月二〇日、母こえん様をお浄土にお送りでした。枕経、お通夜、ご葬儀七日毎の法要の折々に話していた母への思い、九十才の母のご往生の、ご家族の方々のみとりのお姿、信心の家の、ビハラの実践を尊く拝しました。

「家族の者が、納棺の準備にと、母の筆筒を開きました。写真のこと、着せてほしい着物、葬儀や法要での家族の気配りまで話し、ナマングブツ、と結んで便箋に書き残してくれていました。私たち子どもたちや、家の者みんな、孫や孫の嫁ひ孫まで、手をとり合い、ナマングブツ、ナマングブツ、と称えている中で、母は息絶えました。」

涙の中で話される、六十五才の楨原氏。母の傍で、生死の苦海にうち沈む私に、大悲の親がこの詩を書かせて下さいました、とみせていただきました。

他力の信をたとうれば私は魚で、親は水

水がなければ魚は死ぬ親のお慈悲の大願海で煩惱かかえてはね回る見ためは汚い魚だがみ親の智慧の海故に業苦の鱗がとれていく。

時計を見れば四時半で宿世の今日も夜が明けた宿世の母がすぐそばでタンからませて咳をする母の姿を眺めいて私もやがて、このように身は枯れ果てて朽ちるとも宿業はみ親にいだかれて自然に浄土に往生する。

四六時中その中で親のご苦勞をエサにして涅槃の白道泳ぎゆく業苦をかかえた魚たちいつかは必ず、えつけして大願海に泳がせる。易業の道に生を受けなまけし私が許されて涅槃の道に入られる私はほんとうに果報者。

楨原氏の、母のご臨終の三日前、明け方の頃の作詩の抜粋です。阿弥陀さま、法藏さまとの語らいの詩、既に三〇〇首を越えています。平生業成の希有の人の心象風景、尊く、ありがたくだくだばかりです。

多紀組光専寺 浅井幸憲

# ニュータウンからお参り

## HOPE

◆4月2日 阪神西組広宣寺（錦織美模範住職）山門落慶法要に本山よりの祝辞伝達に教務所長参列◆兵庫女子短期大学の平成三年度入学式に教務所長出席◆6日 第一土曜仏教講座。講師は利井明弘師（大阪教区）◆7日 別院仏婦定例法座。講師は村井丹師（高砂組蓮教寺）でした◆高砂組教徳寺（辻岡昭臣住職）本堂屋根落慶並びに四百年法要に本山祝辞伝達に教務所長参列◆9日 都市開教公開講演会を北摂組廣宣寺（門中浄光住職）で開催。講師は足利孝之師（阪神東組安養寺）新聞折り込みを見られてお参りされた方の中には「このニュータウンに住んで十年以上になりますが近くに沢山の真宗寺院があると知りませんでした」と講演後の話し合いで話される方もあり、広報の必要性を改めて知らされました◆10日 教化センター常任委員会（写真）◆少年連盟役員会◆成徳学園高等学校の入

学式に教務所長出席◆11日 近畿仏婦大会企画部会◆第三ブロック布教団会合を京都で◆12日 13日 本派教誨師大会◆13日 保育連盟理事会◆14日 仏青連盟委員会◆14日 16日 別院常例。講師は藤田真哲師（神明組慈照寺）◆15日 全国園児大会のスタッフ会議を本山で担当者出席◆16日 教区総代会四役会議。神戸

もとに少年の育成に勤めた。その後も兵庫教育大学院の講師を勤め、教育者の育成に貢献した。ペスタロッチ賞や文部大臣賞、正力松太郎賞などを受けておられる。「大乘」に連載コラムを執筆中だった◆21日 仏壮連盟理事会。五月十九日の大会などについて◆22日 兵同宗連役員会を神戸人権会館で◆26日 恵信尼様平和の日の集いを本山で◆社推協常任委員会◆27日 全国講社大会・殉難者追悼法要を本山◆27日 28日 仏青教徳寺連絡協議会を滋賀の守山で開催◆28日 全国門徒推進員の集いが本山。教区から五十四人◆30日 基推委総会。第二次兵庫教区基幹運動推進基本計画大綱と本年度の運動計画について全体会と三専門委員会話し合う◆組長・副組長・組相談員研修について協議◆矯正支部幹事会◆5月1日 教区寺婦委員会総会。予決算と事業計画など◆都市開教推進部会◆2日 14日 16日 別院常例。講師は太田唯念師（播磨中組西念寺）あいにく十五日の降誕会は雨でしたが聖人のお像の前でもお勤めをし、参拝者にお餅のお下がりがありました◆14日 教区仏婦委員会総会◆スカウト役員

ク研修、近畿大会など◆4日 第一土曜仏教講座。高田慈昭師（行信教校教授）◆5日 淡路組萬行寺（山本宣昭住職）本堂修復落慶並びに歴代住職、門徒追悼法要に本山よりの祝辞伝達に教務所長参列◆7日 教化センター委員会総務部会◆別院定例。講師は岡本幸信師（神戸中組極楽寺）◆青少年国際研修団選考委員会◆矯正評議員会を大阪の津村別院で開催◆13日 基推委研修指導員部会。本年度の各組織ブロック研修の内容について、講師は研修読本の執筆者を中心に読本にそった研修内容を進めることとなる◆仏婦近畿大会企画会議◆別院降誕会を前に婦人会の皆さんと職員で恒例のお餅つきをする。翌日肩が張るのも恒例である◆14日 16日 別院常例。講師は太田唯念師（播磨中組西念寺）あいにく十五日の降誕会は雨でしたが聖人のお像の前でもお勤めをし、参拝者にお餅のお下がりがありました◆14日 教区仏婦委員会総会◆スカウト役員

◆14日 15日 教区仏婦幹部一泊研修会。教務所長は講読本の中で新しくなった研修読本の願いなども話しました◆15日 教区少年連盟総会。少ない予算の中でいかに少年教化を進めるかなど教務所長を交えて活発な意見交換があった◆17日 基推委同朋運動推進専門委員会。組同朋講座の住職寺族部門と一般部門の要綱について、住職寺部門のテーマ設定について次の案がだされ六月五日の講師研修協議会で検討されることとなった◆業問題と部落差別の関わり◆組画変更後の問題点の点検◆差別問題集結と今後の課題◆宗教と差別信心の社会性◆組における具体的テーマ。最後のテーマはそれぞれの組において、組の事情や地域性も違い、組画後においても教化活動の重点目標にそったテーマ設定をもうける試みが出されています◆18日 仏壮大会の準備とレジメの袋詰めなどを龍野市民会館で。（4ページに続く）



別院裏の空き地を下見の委員

# 同朋講座のテーマ検討